

令和7年度 井高野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和7年度 井高野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)		平均IRTスコア	
			国語	数学	国語	数学	理科	
3年	学校	91	50	40	7.1	14.4	学校	454
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2	大阪市	489
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6	全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3年	学校	88	62.6	51.1	51.0	41.2	48.8	5.6	4.5	9.5	9.5	7.3
	大阪市	—	64.8	51.5	54.3	46.5	54.4	6.1	5.8	11.1	9.4	6.5
9月2日	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	46.0	53.2	6.8	6.5	12.1	11.0	7.4
2年	学校	96	63.4	43.2	61.8	50.4	46.3	7.6	6.5	7.9	3.3	7.0
	大阪市	—	65.2	45.0	56.0	47.9	52.4	6.6	5.6	10.3	4.2	6.9
1月14日	大阪府	—	64.5	44.3	55.0	46.7	51.8	7.3	6.3	11.7	5.0	7.6
1年	学校	83	52.7	46.7	41.7	51.0	54.3	16.0	6.9	16.8	8.7	8.6
	大阪市	—	63.3	58.3	57.6	63.0	66.5	9.1	3.0	7.6	3.7	4.1
1月14日	大阪府	—	63.1	—	56.7	—	65.2	10.2	—	8.8	—	4.9

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択

※ 3年生の理科はB問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
			【リーディング】	【リスニング】	【ライティング】	【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3年	学校	79	109.2	105.8	130.8	84.0
10月14日	大阪市	—	117.4	110.2	146.4	98.4

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトル ラン	持久走 男子1500m 女子1000m	50m走	立ち 幅とび	ハンドボール 投げ	体力 合計点
	84	(kg)	(数)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
2年 男子	学校	28.60	25.93	45.00	52.82	85.72		7.68	200.18	22.20	44.09
	大阪市	28.65	26.89	43.47	51.80	80.14		8.06	195.02	20.28	41.69
	全国	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82		8.00	197.51	20.74	42.20
2年 女子	学校	22.00	23.59	53.20	48.09	57.31		8.71	175.43	12.96	51.83
	大阪市	23.12	22.70	46.32	46.59	53.12		9.03	166.76	12.20	48.14
	全国	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60		8.97	166.44	12.43	47.58

令和7年度 井高野中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

●全国学力・学習状況調査結果:3年生対象

【正答率・無回答率の大阪市・全国との比較等】

〈国語〉

平均正答率:大阪市平均-2.0ポイント、全国平均-4.3ポイント

平均無解答率:大阪市平均+0.3ポイント、全国平均+0.4ポイント

〈数学〉

平均正答率:大阪市平均-6.0ポイント、全国平均-8.3ポイント

平均無解答率:大阪市平均+3.2ポイント、全国平均+3.8ポイント

〈理科〉

大阪市平均IRTスコア-35ポイント、全国平均IRTスコア-49ポイント

【生徒アンケート結果】

※質問一部抜粋。道徳的意識や社会貢献意欲が全国平均を上回った。

○いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。

〈井高野、大阪市、全国〉95.6%、95.4%、95.9%

○人が困っているときは、進んで助けていますか。

〈井高野、大阪市、全国〉94.4%、91.0%、90.9%

○人の役に立つ人間になりたいと思う。

〈井高野、大阪市、全国〉97.8%、96.7%、96.6%

○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。

〈井高野、大阪市、全国〉77.8%、75.1%、75.3%

【成果と課題】

〈国語〉

「読むこと」の領域は、大阪府平均とほぼ同水準であった。短答式の問題で、2題ともに平均正答率で全国を上回った。しかし、「話すこと・聞くこと」の領域が、全国と比較して-6.5%であり、助言の意図についての選択問題や、必要な助言を自分で考える記述問題で課題が見られた。

〈数学〉

図形に関する問題において、全国・大阪府の平均正答率に近づいている。しかし、数と式やデータの活用の領域において、素数や相対度数などの数学术語が入った問題での平均正答率が低く、課題が見られた。

〈理科〉

「粒子」を柱とする領域の2問において、平均正答率が大阪府平均を上回ったが、元素記号の記述や、必要な実験を選び、予想される結果を記述する設問での平均正答率は全国平均を下回った。また、IRTバンド5・4の割合が大阪府・全国と比較して-8.5%、-11.9%であり、IRTバンド1の割合が大阪府・全国と比較して+3.7%、5.9%であった。基礎学力の定着に課題が見られる生徒が多いという結果になった。(IRTバンドとは、IRTスコアを1～5の5段階に区切ったもので、3を基準とし、5が最も高いバンドとなります。)

【今後に向けて】

〈国語〉

話し合いの中で、必要に応じて質問を交えながら話題や展開を捉え、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめ、資料等を用いてわかりやすく伝える力を養う。自分の考えを書く問題では、主張したい内容を明確にし、自分の考えを言葉で表現できるようにする。漢字においては、朝学習や校内での漢字能力検定受検で定着を図る。

〈数学〉

日常の事象を数理的に捉え、解決の過程や結果を振り返って考察する活動を取り入れる。また、数学的な表現を用いて筋道を立ててわかりやすく説明する活動を取り入れる。正しい数学术語を使い、正答を導きだすまでの過程を的確に表現するよう指導する。問題文を要約し、必要な項目・事柄を正確に読み取る力を育て、ICT等を利用し、データ、資料等を収集・整理し、それらを基にデータ分布の特徴・傾向を読み取る力を養う。

〈理科〉

実験の目的や手順に関する理解の定着を図るとともに、実験結果の予測を生徒自身が考える活動を増やす。「なぜそうなるのか？」を問う場面を設け、思考・判断・表現に関する記述式問題への対策を講じる。

〈全体〉

子どもが授業や教科を好きだと思える気持ちを引き出し、基礎学習の回復と、記述問題への取組に力を入れることにより得点力の向上を図る。今後もICTを取り入れ、子どもたちへわかりやすい授業を展開する。

調査結果から

●中学生チャレンジテスト(3年生)結果

【大阪市・大阪府との平均点・無解答率の比較】

〈国語〉

平均点: 大阪市平均-2.2ポイント、大阪府平均-1.6ポイント

平均無解答率: 大阪市平均-0.5ポイント、大阪府平均-1.2ポイント

〈社会〉

平均点: 大阪市平均-0.4ポイント、大阪府平均-0.1ポイント

平均無解答率: 大阪市平均-1.3ポイント、大阪府平均-2.0ポイント

〈数学〉

平均点: 大阪市平均-3.3ポイント、大阪府平均-2.9ポイント

平均無解答率: 大阪市平均-1.6ポイント、大阪府平均-2.6ポイント

〈理科B〉

平均点: 大阪市平均-5.3ポイント、大阪府平均-4.8ポイント

平均無解答率: 大阪市平均+0.1ポイント、大阪府平均-1.5ポイント

〈英語〉

平均点: 大阪市平均-5.6ポイント、大阪府平均-4.4ポイント

平均無解答率: 大阪市平均+0.8ポイント、大阪府平均-0.1ポイント

【成果と課題】

5教科ともに、大阪市や大阪府の平均点を下回る結果となったが、社会については、ほぼ平均点と差のない結果となった。また、無回答率が低い点からは、課題に対して意欲的に向き合う姿勢がみられた。

基礎学力に課題がみられるため、全体的な学力の底上げが必要である。反復学習の継続や習慣化のほかに、子ども達の学習意欲を大切にしながら、主体的に自身の課題をみつけ、解決していく力を養う必要がある。

記述式問題に対しては、問われている内容を正しく理解し、必要なキーワードを適切に組み合わせる力や、自分の考えを簡潔に解答する力を付けたい。

調査結果から

●大阪市英語力調査(GTEC):3年生対象

【成果と課題】

<読むこと(リーディング)>

短い簡単な文章をいくつかの「意味のまとまり」ごとに区切りながら、返り読みをせずに英文を読み進める力はある。次は、簡単な文章の大きな流れを理解するために、後戻りせずに1文1文をつないで文章の流れをつかみながら、全体のイメージを大きくとらえる演習を行っていく。

<聞くこと(リスニング)>

馴染みのある表現において必要な情報を聞き取る力はある。次は英文を聞いて、「意味のまとまり」ごとに区切り、状況をイメージして全体の意味をとらえる力をつけていく必要がある。まとまりごとに状況を思い浮かべたり、状況を表すイラストを選択したりする問題などに取り組んでいく。

<書くこと(ライティング)>

1つのテーマで3文程度書く力はある。次は、基本的な英文をつなげて短い文章を書く力をつけていく必要がある。「いつ」「どこで」「何を」「なぜ」「どのように」などの観点でアイデアを連想して、英文にする問題などに取り組んでいく。

<話すこと(スピーキング)>

自分に関する話題について、馴染みのある表現を使って、質問したり答えたりする力はある。次は、簡単な質問に対して、簡単な語句や定型表現を使って、その場で答えるような練習を積み重ねていく。

令和7年度 井高野中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

●全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

<握力>

【男子】平均値: 大阪市平均-0.05kg、全国平均-0.35kg 【女子】平均値: 大阪市平均-1.12kg、全国平均-1.15kg

<上体起こし>

【男子】平均値: 大阪市平均-0.96回、全国平均-0.16回 【女子】平均値: 大阪市平均+0.89回、全国平均+1.89回

<長座体前屈>

【男子】平均値: 大阪市平均+1.53cm、全国平均-0.12cm 【女子】平均値: 大阪市平均+6.88cm、全国平均+6.21cm

<反復横とび>

【男子】平均値: 大阪市平均+1.02点、全国平均+2.18点 【女子】平均値: 大阪市平均+1.50点、全国平均+2.35点

<20mシャトルラン>

【男子】平均値: 大阪市平均+5.58回、全国平均+6.90回 【女子】平均値: 大阪市平均+4.19回、全国平均+6.71回

<50m走>

【男子】平均値: 大阪市平均-0.38秒、全国平均-0.32秒 【女子】平均値: 大阪市平均-0.32秒、全国平均-0.26秒

<立ち幅跳び>

【男子】平均値: 大阪市平均+5.16cm、全国平均+2.67cm 【女子】平均値: 大阪市平均+8.67cm、全国平均+8.99cm

<ハンドボール投げ>

【男子】平均値: 大阪市平均+1.92m、全国平均+1.46m 【女子】平均値: 大阪市平均+3.69m、全国平均+4.25m

<体力合計点>

【男子】平均値: 大阪市平均+2.40点、全国平均+1.89点 【女子】平均値: 大阪市平均+3.69点、全国平均+4.25点

【成果と課題】

<男子>

体力合計点は、大阪市平均値を2.40点、全国平均値を1.89点上回る好成績となった。種目別に見ると、「握力」と「上体起こし」は大阪市平均を下回ったものの、その他の種目においては、大阪市平均を上回る結果となった。柔軟性を高めるためには、ストレッチの前後にウォームアップをしたり、股関節や太ももの裏側の筋肉を意識したストレッチを継続的に行っていく必要がある。

生徒質問アンケートの、『運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか』という項目では、肯定的な回答をする生徒が92.9%と、大阪市平均・全国平均を上回る数値を示しており、体を動かすことの楽しさや運動やスポーツへの好意的な様子が窺える。

1週間の総運動時間数をみると、60分未満の生徒の割合が0%と、大阪市平均を11.1%、全国平均9.4%を大きく下回る結果となっており、運動やスポーツに対する好意的な様子や、日常生活への定着が窺える。今後も引き続き、運動やスポーツを日常生活に取り入れ、体力向上に努めたい。

<女子>

体力合計点は、大阪市平均値を3.69点、全国平均値を4.25点上回る好成績となった。種目別に見ると、「長座体前屈」、「50m走」、「立ち幅とび」の数値が、大阪市平均を大きく上回る結果となった。しかし、「握力」の数値は大阪市平均をやや下回った。握力を鍛える方法として、腕立て伏せや懸垂が有効であるが、まずはタオル絞りやボールなどを指で挟んだり、指先でつまむ練習をしたりすることで握力の向上に努めたい。

生徒質問アンケートの、『運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか』という項目では、肯定的な回答をする生徒が74.1%と、大阪市平均・全国平均をやや下回る結果となった。体力合計点が大阪市平均・全国平均を大きく上回る結果に対するこの結果より、運動を楽しく感じられるような授業や部活動の工夫に取り組みたい。

1週間の総運動時間数をみると、60分未満の生徒の割合が16.7%と、大阪市平均27.6%、全国平均24.4%を下回る結果となっており、運動やスポーツに対する好意的な様子や、日常生活への定着が窺える。今後も引き続き、運動やスポーツを日常生活に取り入れ、体力向上に努めたい。

令和7年度 井高野中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

●2年生 中学生チャレンジテスト結果 【大阪市・大阪府との平均点・無解答率の比較】

〈国語〉 平均点: 大阪市平均-1.8ポイント、大阪府平均-1.1ポイント	平均無解答率: 大阪市平均+1.0ポイント、大阪府平均+0.3ポイント
〈社会A〉 平均点: 大阪市平均-1.8ポイント、大阪府平均-1.1ポイント	平均無解答率: 大阪市平均+0.9ポイント、大阪府平均+0.2ポイント
〈数学〉 平均点: 大阪市平均+5.8ポイント、大阪府平均+6.8ポイント	平均無解答率: 大阪市平均-2.4ポイント、大阪府平均-3.8ポイント
〈理科A〉 平均点: 大阪市平均+2.5ポイント、大阪府平均+3.7ポイント	平均無解答率: 大阪市平均-0.9ポイント、大阪府平均-1.7ポイント
〈英語〉 平均点: 大阪市平均-6.1ポイント、大阪府平均-5.5ポイント	平均無解答率: 大阪市平均+0.1ポイント、大阪府平均-0.6ポイント

【成果と課題】

数学・理科において、大阪府平均点を上回る好成績となり、対府平均比(5教科合計)も1.01と大阪府平均を上回る結果となった。無解答率は、大阪府平均と同等か、それ以下の数値となっており、課題に対して意欲的に向き合う姿勢がみられた。特に、数学と理科で書く力がついてきている様子が窺える。

国語…今後も引き続き、学習意欲を高めながら、語彙力や読解力、表現力の向上に努めたい。

数学…「領域別平均点」ですべての分野において、大阪府平均を上回った。今後は、数学の基本的な概念や公式の理解を深め、類似問題を繰り返し解くなどの基礎固めと発展的な問題演習に努めたい。

社会…「記述式問題」の平均正解率が大阪府の平均を上回った。歴史的分野では、重要な出来事や、人物、年号を整理して時系列で理解し、関連性のある出来事をつ結びつけて覚えていく必要がある。ワークや過去問を定期的に復習したりすることで、記憶の定着に努めたい。

理科…「粒子」、「地球」の分野において、大阪府平均を上回った。「生命」の分野に課題が見られたため、植物・動物の範囲において重要語句等の定着に努めたい。

英語…「聞くこと」、「書くこと」の分野で課題が見られた。今後は、出題の趣旨に沿った形で英文が書けるよう力をつけたい。また、長い英文よりも、短く簡潔に内容を伝える英文を書くことを意識し、会話文の問題では、よく使われるフレーズや表現を覚え、会話の流れや文脈を理解して適切な言葉を選べるようにしたい。

●1年生 中学生チャレンジテスト(国・数・英)、大阪市版チャレンジテストplus(社・理)結果 【正答率・無解答率の大阪市・大阪府との比較】

〈国語〉 平均点: 大阪市平均-10.6ポイント、大阪府平均-10.4ポイント	平均無解答率: 大阪市平均+6.9ポイント、大阪府平均+5.8ポイント
〈社会(plus)〉 平均点: 大阪市平均-11.6ポイント	平均無解答率: 大阪市平均+3.9ポイント
〈数学〉 平均点: 大阪市平均-15.9ポイント、大阪府平均-15.0ポイント	平均無解答率: 大阪市平均+9.2ポイント、大阪府平均+8.0ポイント
〈理科(plus)〉 平均点: 大阪市平均-12.0ポイント	平均無解答率: 大阪市平均+5.0ポイント
〈英語〉 平均点: 大阪市平均-12.2ポイント、大阪府平均-10.9ポイント	平均無解答率: 大阪市平均+4.5ポイント、大阪府平均+3.7ポイント

【成果と課題】

各教科において、大阪府・大阪市平均点を下回る成績となり、対府平均比(3教科合計)も0.80と大阪府平均を下回った。

無解答率は、大阪市・大阪府平均よりも高い数値となっており、課題に対して意欲的に向き合う姿勢や書く力をつける必要がある。

国語…筆者の考えを理解し本文の内容に適した答えを導き出す力、必要な情報を整理し内容や自分の考えをまとめる力、読む力や書く力の定着に課題がみられた。また、自分の考えを書く力をつけるために、ニュースを見たり、本を読んだりした際に、自分なりの意見や他の人の意見を聞いてみるなど、日常的に物事について考える意識を持たせ、語彙力の向上にも努めたい。

数学…「数と式」の内容に課題が見られた。基本的な計算演習を繰り返すとともに、問題の意図を正しく理解する力の定着に努めたい。

社会(plus)…基礎的な内容の理解と、定期的な復習による知識の定着が必要であると考えている。また、地理と歴史には繋がりががあるため、歴史の出来事がどの地域で起こり、どのような地理的背景があったのかなどを関連付けて考えることで理解を深めたい。

理科(plus)…基礎知識の習得に努めるとともに、「植物の分類」では、各植物の特徴をまとめ直したり、分類図や表を使って、植物の分類を視覚的に覚ったりすることで、代表的な植物がどの分類に属するのかなどの理解を深めたい。

英語…基本的な文法を復習し、日常的に使われる単語やフレーズを覚えることで、文法理解と語彙力の向上に努めたい。

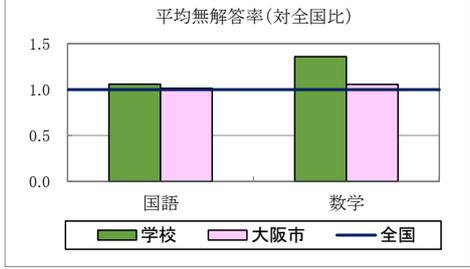
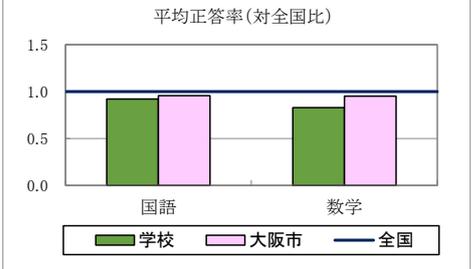
令和7年度 井高野中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	50	40
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

平均無解答率(%)	
国語	数学
7.1	14.4
6.8	11.2
6.7	10.6

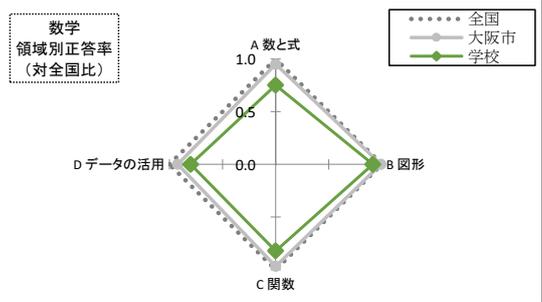
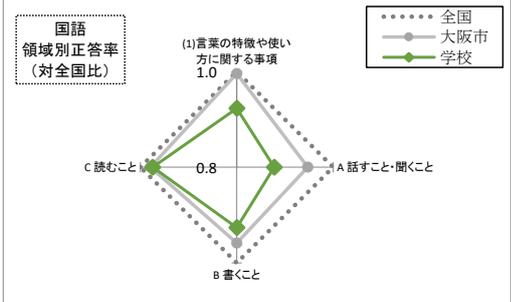
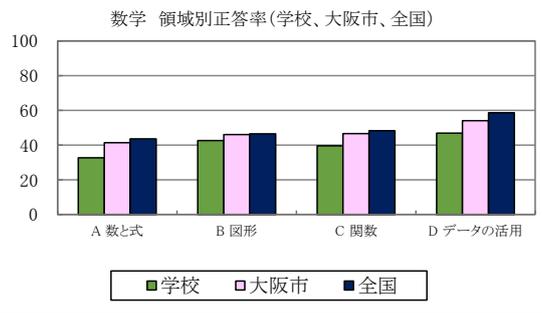
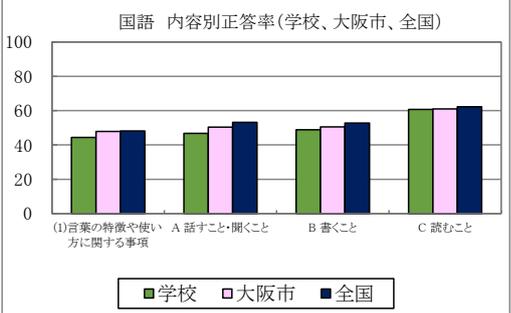


【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	44.4	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	46.7	50.4	53.2
B 書くこと	5	48.9	50.6	52.8
C 読むこと	3	60.7	61.0	62.3

【 数 学 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	32.7	41.4	43.5
B 図形	4	42.6	46.1	46.5
C 関数	3	39.6	46.6	48.2
D データの活用	3	46.9	54.0	58.6

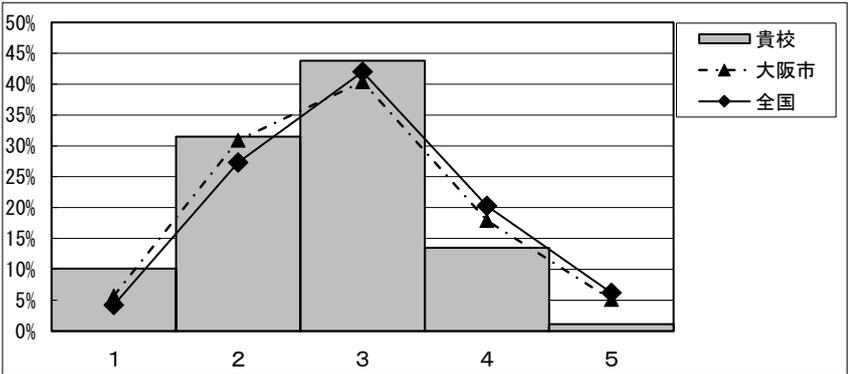
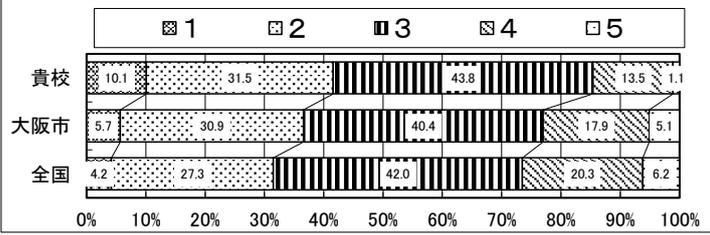


令和7年度 井高野中学校のあゆみ
 —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理科】

	平均IRTスコア
学校	454
大阪市	489
全国	503



令和7年度 井高野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

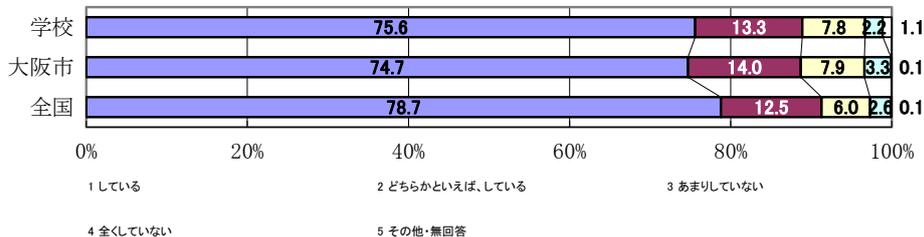
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

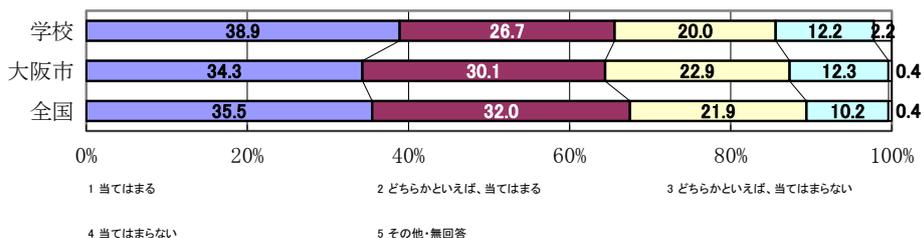
1

朝食を毎日食べていますか



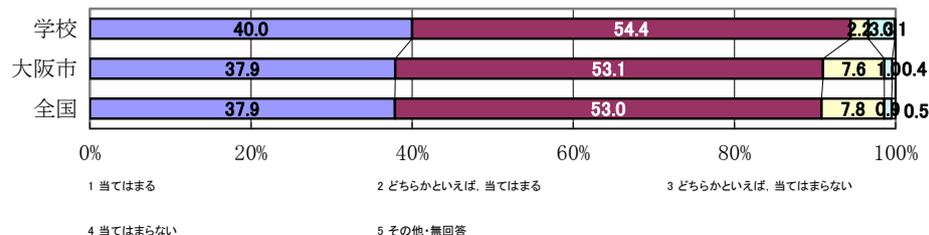
7

将来の夢や目標を持っていますか



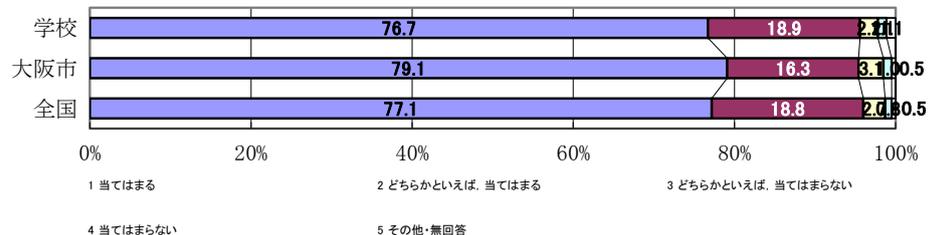
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



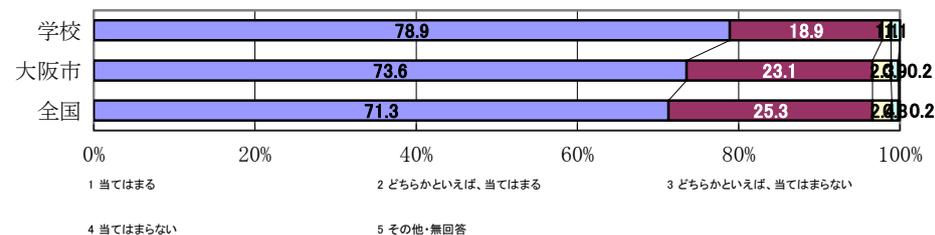
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



令和7年度 井高野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

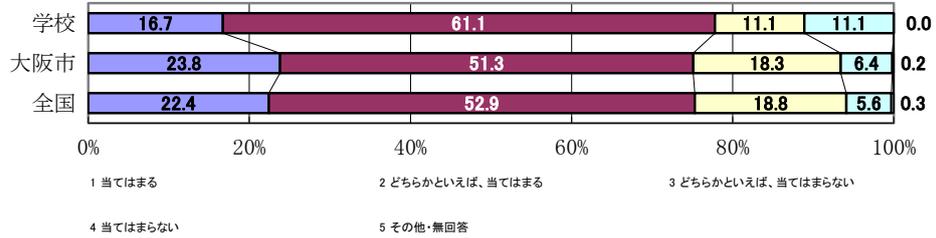
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

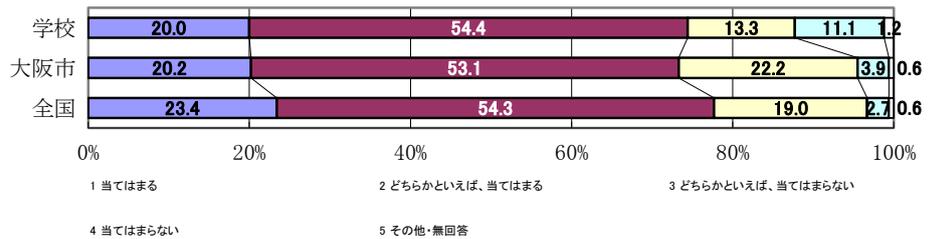
27

地域や社会をよくするために何か
してみたいと思いますか



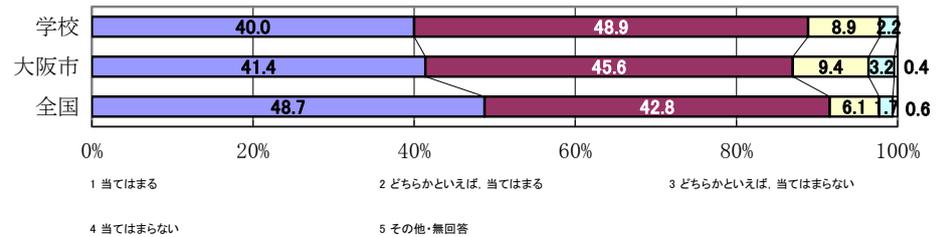
32

1、2年生のときに受けた授業
では、課題の解決に向けて、
自分で考え、自分から取り組
んでいましたか



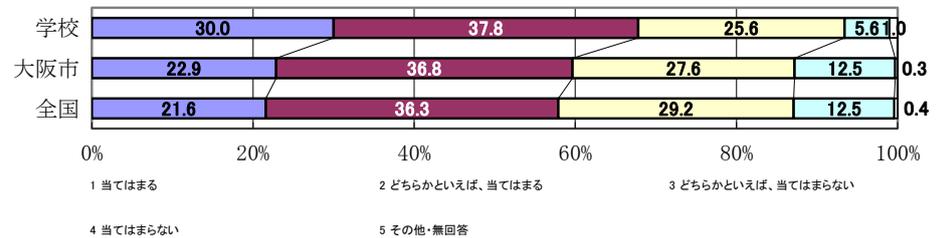
43

道徳の授業では、自分の考えを深
めたり、学級やグループで話し
合ったりする活動に取り組んでいま
すか



45

国語の勉強は好きですか



54

数学の授業の内容はよく分か
りますか

